

## 2021年度第3回中京競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 安城特別

安城（あんじょう）は、愛知県のほぼ中央に位置する市。かつて「日本デンマーク」と呼ばれ、稲作、畑作、果樹、畜産などの多角形農業を進めて、全国の農業経営のモデルとなった。なお、同市はデンマークのコリング市と姉妹都市関係にある。

#### ○ 鞍ヶ池特別

鞍ヶ池（くらがいけ）は、愛知県豊田市にある池。江戸時代に農業用のため池として作られた。現在、池の周辺は鞍ヶ池公園として整備されており、園内には観光牧場や植物園など多くの施設がある。

#### ○ 京都新聞杯（GⅡ）

本競走は、昭和28年に『京都盃』の名称で創設された重賞競走。42年に菊花賞のトライアルレースに指定され、44年にはそれまでの別定重量（31年・34年・35年はハンデキャップ戦で実施）から定量に移行、46年に名称も『京都新聞杯』と変更された。さらに59年には距離が2200mに延伸されるとともにGⅡに格付けされた。平成12年に菊花賞の実施時期が繰り上げられたのに伴い、春季に移設された。この際、競走条件についても2000m・GⅢに変更されたが、13年から再びGⅡとなり、14年には2200mへと延伸された。本年は京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

京都新聞は、京都新聞社より発行されている日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ 三方ヶ原ステークス

三方ヶ原（みかたがはら）は、現在の静岡県浜松市北区三方原地区を指す地名。元亀3年（1572）、武田信玄の率いる軍が、西上作戦の過程で徳川家康の軍を破った三方ヶ原の戦いが起こった。

#### ○ 橘ステークス（L）

橘（たちばな）は、ミカン科の常緑小高木。日本原産唯一の柑橘類とされ、四国・九州・沖縄などに自生する。初夏に芳香のある白色の五弁花を咲かせる。京都御所紫宸殿（きょうとごしよししんでん）の「右近の橘」が有名。花言葉は「追憶」「永遠」。

## ○ 鞍馬ステークス

鞍馬（くらま）は、京都市左京区にある地名。奈良時代に創建された鞍馬寺は、後の源義経となる牛若丸が厳しい修行を行ったことや、山に住む鞍馬天狗から武芸を習ったという伝説で有名。

## <第3日>

### ○ 京都ハイジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。本年は京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において3900mで実施される。なお、中京競馬場において3900mの障害競走が実施されるのは本年が初となる。

### ○ あずさ賞

あずさは、カバノキ科の落葉高木。深山に自生し、高さ20mにも達する。堅く弾力があるこの木で作られた弓は梓弓と呼ばれ、神事などに用いられる。

### ○ 遠州灘ステークス

遠州灘（えんしゅうなだ）は、静岡県御前崎から愛知県伊良湖岬までの沖合一帯の海域。広義には、静岡県石廊崎から三重県大王崎を指す。波が荒く、港が少なかったため航海の難所であった。

### ○ 都大路ステークス（L）

都大路（みやこおおじ）は、京都市内を縦横に走る通りの総称。都の大通り、都の幅広い主要な道路のこと。京都は基盤の目状に区別された平安京を基に発達した町で、現在でも三条通、四条通といった当時を偲ばせる呼び名の通りが残っている。

## <第4日>

### ○ 寒狭川特別

寒狭川（かんさがわ）は、愛知県東部、美濃三河高原の段戸山に発して南に流れ、長篠付近で宇連川と合流して豊川となる川。全長約46km。鳳来寺山の西側を貫流蛇行し、峡谷を形成している。峡谷沿いはアユやアマゴなどの釣り場として知られている。

## ○ 朱雀ステークス

朱雀（すざく）は、中国の伝説上の神獣で、四神のひとつ。南方を守護する聖なる鳥とされる。中国唐の時代の条坊制を用いた都城でのメインストリートを朱雀大路と呼ぶ。日本でも、平安京の大内裏の南門中央部に位置する朱雀門から、南端の羅城門までの通りを朱雀大路と呼ぶ。

## ○ 栗東市制施行 20 周年記念栗東ステークス（L）

本競走は、栗東市制施行 20 周年を記念して実施される。

栗東（りっとう）は、滋賀県南部の市。平成 13 年市制施行。野洲川南岸の平野と信楽山地北斜面の丘陵地を占める。米や野菜の生産が盛んな一方で、化学・金属・機械工業などの工業地帯としても発展している。

なお、同市には JRA の競走馬調教施設である栗東トレーニング・センターがある。

## <第 5 日>

### ○ メルボルントロフィー

メルボルンは、オーストラリア第 2 の都市。ヴィクトリア州の州都でもある。フレミントン競馬場で毎年 11 月に行われる『メルボルンカップ』当日は、同州の休日に指定され、オーストラリア最大級のイベントとして大きな注目を集める。

### ○ オーストラリアターフクラブ賞シドニートロフィー

オーストラリアターフクラブは、平成 23 年 2 月にシドニー地区の 2 つの競馬クラブを統合して設立された団体。所有競馬場として、ロイヤルランドウィック競馬場・ローズヒルガーデンズ競馬場・ウォリックファーム競馬場・カンタベリーパーク競馬場が有名。

シドニーは、オーストラリア第 1 の都市。ニューサウスウェールズ州の州都でもある。ハーバー・ブリッジやシドニー・オペラハウスなどが観光地として世界的に有名。

### ○ 平安ステークス（GⅢ）

本競走は、平成 6 年に創設された重賞競走。25 年に距離が 1800m から 1900m に延伸され、時期も 1 月から 5 月に移設して実施されている。本年は京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

平安（へいあん）は、平安京の略称。平安京は、延暦 13 年（794）に長岡京より遷都された都で、大きさは東西 4.5km、南北 5.2km。平安遷都 1100 年を記念して明治 28 年に建立された平安神宮は、大極殿と応天門を模造し、平安京大内裏の朝堂院を 3 分の 2 に縮小し復元している。祭神は桓武天皇で、昭和 15 年に孝明天皇が併せ祀られた。秋には京都三大祭のひとつである「時代祭」が行われる。

## ○ レーシングオーストラリア賞オーストラリアトロフィー

レーシングオーストラリアは、平成 27 年 4 月、オーストラリアンレーシングボード・レーシングインフォメーションサービスオーストラリア・オーストラリアンスタッドブックを統合して設立された団体。競馬番組の認可、調教師と騎手の免許交付、血統登録などの業務を行っている。

オーストラリアは、オセアニアのオーストラリア大陸を占める連邦制の国。首都はキャンベラ。

## <第 6 日>

### ○ 御在所特別

御在所（ございしょ）は、三重県三重郡菰野（こもの）町西部にある鈴鹿山脈の主峰。標高 1,212m。鈴鹿国定公園に属し、山頂に通じる大規模なロープウェイや展望台が設けられている。

### ○ 鳳雛ステークス（L）

鳳雛（ほうすう）は、鳳凰の雛のこと。また、将来が期待される優れた才分を持つ人物の雅称。中国の『三国志』で、軍師として有名な龐統は「鳳雛」と称され、周囲から将来を囑望されていたと言われている。

### ○ 大垣ステークス

大垣（おおがき）は、岐阜県西部にある市。古くから東西交通の要衝として、歴史的に重要な役割を果たしてきた。市内にある大垣城は、関ヶ原の戦いで、西軍の石田三成の本拠地にもなった。また、松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えた「奥の細道むすびの地」がある。

## <第 7 日>

### ○ 揖斐川特別

揖斐川（いびがわ）は、岐阜県揖斐川町の冠山に源を発し、岐阜県と三重県を流れる木曾川水系の河川。途中で木曾川、長良川と平行して流れ、河口附近の三重県桑名市で長良川と合流し、伊勢湾に注いでいる。

### ○ 志摩ステークス

志摩（しま）は、旧国名のひとつで、三重県志摩半島南東部の市。英虞湾（あごわん）の複雑なリアス式海岸を利用した真珠や青海苔の養殖が盛んである。

## ○ 葵ステークス（重賞）

本競走は、スプリント路線の拡充を目的として、平成 30 年に創設された 3 歳馬限定の重賞競走。芝 1200m、別定重量戦で実施される。本年は京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

葵（あおい）は、アオイ科の植物の総称。また、家紋のひとつで、フタバアオイの葉を図案化したもの。賀茂神社の神紋に由来し、徳川氏の葵巴の紋などが有名。同神社で 5 月 15 日に行われる葵祭は、石清水祭、春日祭とともに三勅祭のひとつに数えられる。

## <第 8 日>

### ○ 香嵐溪特別

香嵐溪（こうらんけい）は、愛知県豊田市にある溪谷。江戸時代初期の寛永年間（1624～1643）に、香積寺の僧が植えたとされる数千本のカエデがある。清流と紅葉の名所であり、多くの観光客が訪れる。

### ○ 安土城ステークス（L）

安土城（あづちじょう）は、滋賀県近江八幡市にあった城。現在は城跡全体が特別史跡に指定されている。天正 7 年（1579）に織田信長が天下統一の拠点として築城した。信長は、その 3 年後に京都の本能寺で明智光秀に襲われ、安土城はそれに続く山崎の戦いの余波で焼失した。

### ○ 白百合ステークス（L）

白百合（しらゆり）は、ユリ科の一種で花の白いユリのこと。5～8 月頃に花を咲かせ、主に観賞用として栽培される。花言葉は「純潔」「無垢」。

### ○ 伊勢ステークス

伊勢（いせ）は、三重県東部にある市。伊勢神宮の鳥居前町として発展した。伊勢神宮は天照大御神と豊受大御神を祭神とし、神体は八咫鏡であり、古くから「お伊勢参り」の参詣者が多く訪れる。